

科目名	基礎科学			学年	1 年 17 期生
担当者				期 別	通年
単位数	4			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	東和大学 電子・医療電子工学コース勤務 (昭和60年4月～平成16年3月)				
一般目標(GIO)					
医療者にとって必要な物理・化学・生物の基礎知識を理解する。 また、ヒトはどのような構造・機能をもって生命現象を維持しているのかを、人体の仕組みを全体的に学びながら理解					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	2	物理・化学・生物の基礎	モノの単位について説明できる
2		17	2		元素記号が説明できる
3		24	2	生命としての人体	生命誕生についておおまかに説明できる
4	5	8	2		生命活動の基本についておおまかに説明できる
5		15	2	からだを作っているもの	細胞、組織についておおまかに説明できる
6		22	2		体の構造についておおまかに説明できる
7		29	2	からだを巡る流れ	血液、血液の流れ、リンパについておおまかな説明ができる
8	6	5	2		心臓についておおまかに説明できる
9		12	2	食べ物の流れ	細胞が食物を取り込む仕組みをおおまかに説明できる
10		19	2		食べ物の通る道、消化のシステムについておおまかに説明できる
11		26	2	呼吸のしくみ	空気がたどる道についておおまかに説明できる
12	7	3	2		呼吸のしくみについておおまかに説明できる
13		10	2	からだにとって余分なもの	尿、血液の浄化についておおまかに説明できる
14		17	2		その他の余分なものの処理についておおまかに説明できる
15		24	2	前期のまとめ	
16	8	28	2	前期試験の返却及び解答	
17	9	20	2	からだを守るしくみ	自律神経についておおまかな説明ができる
18		27	2		からだを守る免疫についておおまかに説明できる
19	10	4	2	からだの動き	骨の基礎知識についておおまかに説明できる
20		11	2		筋肉の基礎知識についておおまかに説明できる
21		18	2	脳とからだの連携	神経についておおまかに説明できる
22		25	2		脳についておおまかに説明できる
23	11	1	2	刺激を感じるしくみ	視覚、聴覚についておおまかに説明ができる
24		8	2		触覚、嗅覚、味覚についておおまかに説明できる
25		15	2	身体の調子を整える	ホメオスタシスについておおまかに説明できる
26		29	2		ホルモンについておおまかに説明できる
27	12	6	2	外側から自分を守る	皮膚についておおまかに説明できる
28		13	2		表皮の仲間についておおまかに説明できる
29		20	2	子孫をつくる	性の違いについておおまかに説明できる
30	1	10	2		妊娠、出産についておおまかに説明できる
31		17	2	後期のまとめ	
32	2	7	2	後期試験の返却及び解答	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	なし		人体の仕組みを全体的につかんで解剖生理を理解しよう(医学芸術者) のほほん解剖生理学(永岡書店) セラピストなら知っておきたい解剖生理学(秀和システム) 運動・からだ図解 生理学の基本(マイナビ)	

科目名	基礎福祉学			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	前期
単位数	2 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32 時間	16 回	専任・兼任		兼任
実務経験	【教育実績】1991～2000、08～09、09～18 福岡県立小・中学校 九州医療専門学校 【臨床実績】2009～18 九州医療専門学校九福附属治療院				
一般目標(GIO)					
高齡化社会に突入し、めまぐるしく変革、改正される社会保障制度を学習する。 社会保障制度の現状と課題を確認し、社会保障制度が自分たちの将来に密接に関係していることを理解する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	8	1	社会保障制度とは	これからの講義の流れを理解する。
2		15	1	社会保障制度の歴史	現在までに至る社会保障の歴史を知る。
3		22	1	医療保険について I	保険者と被保険者、保険給付について理解する。
4	5	13	1	医療保険について II	医療提供体制について理解する。
5		20	1	年金制度について I	保険者と被保険者、保険料について理解する。
6		27	1	年金制度について II	遺族年金と障害年金、企業年金等について理解する。
7	6	3	1	雇用保険について	保険者と被保険者、保険給付について理解する。
8		10	1	労災保険について	保険者と被保険者、保険給付について理解する。
9		17	1	社会保険と民間保険 I	社会保険と民間保険の共通性と相違について理解する。
10		24	1	社会保険と民間保険 II	民間保険の種類と働きについて理解する。
11	7	1	1	生活保護と社会福祉制度 I	生活保護の基本原則と給付について理解する。
12		8	1	生活保護と社会福祉制度 II	社会福祉制度のサービスと給付の仕組みを理解する。
13		16	1	介護保険について I	保険者と被保険者、保険給付について理解する。
14		22	1	介護保険について II	介護提供体制について理解する。
15		29	1	筆記試験	
16	8	26	3	全体のまとめと復習	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	50%	「はじめての社会保障」 有斐閣アルマ			
出席日数	30%				
授業態度	20%				
	%				

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(12:30～14:00)

科目名	外国語		学年	1 年 17 期生	
担当者			期別	通年	
単位数	4 単位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	64 時間	32 回	専任・兼任	兼任	
実務経験	27年間の当校での指導経験				
一般目標(GIO)					
国際人として必要な英語力を目標とする。 医療人として不可欠な専門用語、リスニング力、会話力の修得を目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	3	自己紹介	初対面時、英語で自己紹介ができる
2		17	3	空港での会話、入国審査	空港、飛行機内で英語で対応できる
3		24	3	リスニング、ディクテーション	英語を聞き、まねることができる、書くことができる
4	5	8	3	ホテルでの会話(フロント)	ホテル、フロントで英語で対応できる。ロールプレイ
5		15	3	リスニング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話すこと、書くことができる
6		22	3	レストランでの会話、日本との相違	レストランでメニューを見て注文できる。ロールプレイ
7		29	3	リスニング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話す、書くことができる、
8	6	5	3	ショッピング、お店での会話	お店で商品を購入できる。ロールプレイ
9		12	3	リスニング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話す、書くことができる、
10		19	3	英国の言語、分化、習慣	英国の文化、習慣を理解することができる
11		26	3	リスニング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話す、書くことができる、
12	7	3	3	グループワーク、チェックシート作成	これまでの重要表現を理解しグループで発表できる
13		10	3	スピーキング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話す、書くことができる、
14		17	3	スピーキング、ディクテーション	話す、書くことができる
15		24	3	会話テスト、ディクテーションチェック、重要表現テスト	話す、書くことができる
16	8	28	3	テスト解説、返却	前期に学習した内容を書くこと、話すことができる
17	9	18	3	身体の名称	身体を英語で言うことができる
18		25	3	リスニング、ディクテーション	医療の場で使用する会話を理解できる
19	10	2	3	身体に関する長文	長文を読み理解できる
20		9	3	症状、痛み	症状、痛みを英語で説明できる
21		16	3	リスニング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話す、書くことができる、
22		23	3	症状、痛みに関する長文	長文を読み、理解できる
23		30	3	診察、検査の指示	患者に英語で検査の指示ができる
24	11	6	3	スピーキング、ディクテーション	英語を聞き、話し、書くことができる
25		13	3	診察、処置の説明	患者に英語で説明できる
26		20	3	医療アドバイス	患者に英語でアドバイスできる
27		27	3	スピーキング、ディクテーション	英語を聞き、まねる、話す、書くことができる
28	12	4	3	病院の表示	病院にある英語で書かれた表示を理解できる
29		11	3	グループワーク、チェックシート作成	これまでの重要表現を理解し、グループ発表ができる
30		18	3	スピーキング、ディクテーション	英語を聞き、話し、書くことができる
31	1	15	3	重要表現、会話テスト	後期に学習した英文を言うことができる
32	2	12	3	テスト解説、返却	後期に学習した内容を理解することができる
評価基準			教科書		参考書
筆記テスト	70%	Word by Word(beginning vocabulary work book)		ミミテック 英語マスター	
会話テスト	10%	看護、医療スタッフの英語			
Dictation Check	20%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	解剖学 I			学年	1 年 17 期生
担当者				期 別	前期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
解剖学における運動器系の分野を学習し、身体の構造と運動機能を理解する 本科目では、全身の骨格および関節の構造と機能、体幹部・上肢の筋肉と体表解剖および運動機能の理解と知識の修得を目標とする					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	8	2	運動器総論1	骨の基本構造と分類が説明できる
2		12	1	運動器総論2	筋の基本構造と分類が説明できる
3		15	2	脊柱の骨格1	椎骨の構造と構成を説明できる
4		19	1	脊柱の骨格2	各椎骨の違いが説明できる
5		22	2	胸郭の骨格	胸郭の構造と運動を説明できる
6		26	1	上肢の骨格1	上肢帯・自由上肢の構成と特徴が説明できる
7	5	10	1	上肢の骨格2	肩関節の構造が説明できる
8		13	2	上肢の骨格3	肘関節の構造が説明できる
9		17	1	上肢の骨格4	手指関節の構造が説明できる
10		20	2	下肢の骨格1	下肢帯・自由下肢の構成と特徴が説明できる
11		24	1	下肢の骨格2	股関節の構造が説明できる
12		27	2	下肢の骨格3	膝関節の構造が説明できる
13		31	1	下肢の骨格4	足部の関節の構造が説明できる
14	6	3	2	体幹の筋1	胸部の筋の構造と機能が説明できる
15		7	1	体幹の筋2	腹部および会陰部の筋の構造と機能が説明できる
16		10	2	体幹の筋3	背部の筋の構造と機能が説明できる
17		14	1	体幹の運動機能	体幹の関節と筋を理解し運動機能が説明できる
18		17	2	体幹の局所解剖1	体幹での体表から触知できる骨について説明ができる
19		21	1	体幹の局所解剖2	体幹での体表から触知できる筋について説明ができる
20		24	2	頸部の筋	頸部の筋の構造と機能が説明できる
21		28	1	頸部の局所解剖	頸部の構造的特徴を説明できる
22	7	1	2	上肢の筋1	上肢帯の筋の構造と機能が説明できる
23		5	1	上肢の筋2	上腕の筋の構造と機能が説明できる
24		8	2	上肢の筋3	前腕の筋の構造と機能が説明できる
25		12	1	上肢の筋4	手指の筋の構造と機能が説明できる
26		16	2	上肢の局所解剖1	上肢の体表から触知できる骨について説明ができる
27		19	1	上肢の局所解剖2	上肢の体表から触知できる筋について説明ができる
28		22	2	上肢の運動機能1	肩関節の関節と筋を理解し運動機能が説明できる
29		26	1	上肢の運動機能2	肘関節の関節と筋を理解し運動機能が説明できる
30		29	1	上肢の運動機能3	手関節の関節と筋を理解し運動機能が説明できる
31	8	27	3	テスト返却・解説	
32		30	1	まとめ	解剖学Ⅱに向けての知識の確認を行う
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%		解剖学(医歯薬出版)		クニカルマッサージ(西東社) 筋と骨格の触診術の基本(マイナビ) 骨・関節・靭帯・神経・血管の触診術の基本(マイナビ) はり・きゅう師国家試験過去問題集'19(医道の日本社)

科目名	解剖学Ⅱ			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	後期
単位数	1			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・16回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
解剖学における運動器系の分野と脈管・神経の走行を学習し、身体の構造と運動機能を理解する 本科目では、解剖学の筋学の下肢の範囲および運動器の栄養血管・支配神経の走行と機能を学習し、その知識の修得を目標とする					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	17	3	下肢の筋1	下肢帯の筋の構造と機能が説明できる
2		24	3	下肢の筋2	大腿の筋の構造と機能が説明できる
3	10	8	3	下肢の筋3	下腿の筋の構造と機能が説明できる
4		15	3	下肢の筋4	足部の筋の構造と機能が説明できる
5		29	3	下肢の運動機能1	股関節の関節と筋を理解し運動機能が説明できる
6	11	5	3	下肢の運動機能2	膝・足関節の関節と筋を理解し運動機能が説明できる
7		12	3	下肢の局所解剖	上肢の体表から触知できる骨・筋について説明ができる
8		19	3	上肢の脈管	上肢の動脈・静脈・リンパの走行を理解し、説明ができる
9		26	3	上肢の神経	上肢の神経の走行を理解し、説明ができる
10	12	3	3	下肢の脈管	下肢の動脈・静脈・リンパの走行を理解し、説明ができる
11		10	3	下肢の神経	下肢の神経の走行を理解し、説明ができる
12		17	3	体幹の脈管	体幹の動脈・静脈・リンパの走行を理解し、説明ができる
13	1	7	3	体幹の神経	体幹の神経の走行を理解し、説明ができる
14		14	3	顔面部の筋	表情筋の走行と作用を理解し、説明ができる
15		21	3	復習	
16	2	13	3	テスト返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	解剖学(医歯薬出版)		クリニカルマッサージ(西東社) 筋と骨格の触診術の基本(マイナビ) 骨・関節・靭帯・神経・血管の触診術の基本(マイナビ) はり・きゅう師国家試験過去問題集'19(医道の日本社)	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	解剖学Ⅲ			学年	1 年 17 期生
担当者				期 別	後期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	17年(鍼灸整骨院 4年、付属鍼灸院 13年)				
一般目標(GIO)					
人体の構成を理解することで、将来、はり師・きゅう師として施術の危険性を察知できる能力を身につけさせ、かつ、自ら興味を持たせ、より良い医療人を育成することを目標に位置づけている。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	17	2	人体の構成(細胞・細胞分裂)	細胞の構造と細胞分裂を説明できる。
2	9	18	1	人体の構成(組織)	上皮組織・結合組織を説明できる。
3	9	24	2	人体の構成(組織)	筋組織・神経組織を説明できる。
4	9	25	1	人体の構成(皮膚構造)	体表構造(皮膚:表皮・真皮・皮下組織)を説明できる。
5	10	2	1	循環器系(心臓)	心臓(心房・心室・弁膜・特殊心筋)の構造と機能を説明できる。
6	10	8	2	循環器系(心臓)	心臓(心房・心室・弁膜・特殊心筋)の構造と機能を説明できる。
7	10	9	1	循環器系(血管系:動脈)	動脈系(肺循環・体循環)を説明できる。
8	10	15	2	循環器系(血管系:動脈)	動脈系(肺循環・体循環)を説明できる。
9	10	16	1	循環器系(血管系:動脈)	動脈系(肺循環・体循環)を説明できる。
10	10	23	1	循環器系(血管系:静脈・胎児循環)	静脈系・胎児循環を説明できる。
11	10	29	2	循環器系(血管系:静脈・胎児循環)	静脈系・胎児循環を説明できる。
12	10	30	1	循環器系(血管系:リンパ管系)	リンパ系を説明できる。
13	11	5	2	呼吸器系(上気道)	鼻腔・副鼻腔の構造と機能を説明できる。
14	11	6	1	呼吸器系(上気道)	咽頭・喉頭(喉頭軟骨)をの構造と機能を説明できる。
15	11	12	2	呼吸器系(下気道)	気管・気管支の構造と機能を説明できる。
16	11	13	1	呼吸器系(肺・縦隔)	肺・縦隔の構造と機能を説明できる。
17	11	19	2	呼吸器系(肺・縦隔)	肺・縦隔の構造と機能を説明できる。
18	11	20	1	消化器系(総論・口腔)	中空性器官、口腔(舌・歯・唾液腺)を説明できる。
19	11	26	2	消化器系(咽頭・食道)	咽頭・食道の構造と機能を説明できる。
20	11	27	1	消化器系(胃)	胃の構造、胃間膜、胃の働きが説明できる。
21	12	3	2	消化器系(胃)	胃の構造、胃間膜、胃の働きが説明できる。
22	12	4	1	消化器系(小腸)	小腸(十二指腸・空腸・回腸)の構造と機能を説明できる。
23	12	10	2	消化器系(小腸)	小腸(十二指腸・空腸・回腸)の構造と機能を説明できる。
24	12	11	1	消化器系(小腸)	小腸(十二指腸・空腸・回腸)の構造と機能を説明できる。
25	12	17	2	消化器系(大腸)	大腸(盲腸・結腸・直腸)の構造と機能を説明できる。
26	12	18	1	消化器系(大腸)	大腸(盲腸・結腸・直腸)の構造と機能を説明できる。
27	1	7	2	消化器系(肝臓・胆嚢・膵臓)	肝臓の構造と機能を説明できる。
28	1	14	2	消化器系(肝臓・胆嚢・膵臓)	肝臓の構造と機能を説明できる。
29	1	15	1	消化器系(肝臓・胆嚢・膵臓)	胆嚢・膵臓の構造と機能を説明できる。
30	1	21	2	生殖器系(男性生殖器)	精巣・精路(精巣上体・精管)の構造と機能の説明ができる。
31	2	12	1	生殖器系(男性生殖器)	付属腺(精囊・前立腺・尿道球腺)・外生殖器の構造と機能の説明ができる。
32	2	13	2	後期試験返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	解剖学 第2版 東洋療法学校協会		生理学 第3版 東洋療法学校協会	

科目名	生理学 I			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	前期
単位数	1 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32 時間	16 回		専任・兼任	兼任
実務経験					
一般目標 (GIO)					
生理学における神経系の働きを、神経細胞から中枢神経系、末梢神経系、それぞれの機能やメカニズムについての基本的な知識の習得を目標とする					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	4	9	1	ニューロンの構造と働き	神経細胞の構造と働きについて理解し、おおまかに説明できる
2		16	1	神経線維の興奮伝達	神経線維の種類やその興奮伝達について大まかに説明できる
3		23	1	シナプス伝達	シナプス伝達について構造も含め、大まかに説明できる
4	5	7	1	中枢神経系の分類と機能	神経系を系統だてて大まかに理解し、説明できる。
5		14	1	反射	反射の基本的な機序について大まかに説明できる
6		21	1	脊髄	脊髄の構造や主な働きについて大まかに説明できる
7		28	1	脳幹	脳幹の構造や主な働きについて大まかに説明できる
8	6	4	1	小脳	小脳の構造や働きについて大まかに説明できる
9		11	1	視床・視床下部	視床・視床下部の構造や働きについて大まかに説明できる
10		18	1	大脳(基底核、辺縁系)	大脳基底核・大脳辺縁系の構造やその働きについて大まかに説明できる
11		25	1	大脳新皮質	大脳新皮質の構造やその働きについて大まかに説明できる
12	7	2	1	高次脳機能、脳脊髄液	高次脳機能の働きや脳脊髄液についてその構造を含め、大まかに説明できる
13		9	1	末梢神経系	末梢神経系の構造や働きについて大まかに説明できる
14		23	1	自律神経系	自律神経系の主な働きについて大まかに説明できる
15		30	1	交感神経系・副交感神経系	交感神経系・副交感神経系それぞれの構造や機能について大まかに説明できる
16	8	27	1	自律神経系の中樞	自律神経系の中樞について大まかに説明できる
評価基準			教科書		参考書
レポート	20%		医歯薬出版株式会社 生理学 公益社団法人 東洋療法学校協会編		医歯薬出版株式会社 解剖学 公益社団法人 東洋療法学校協会編
筆記試験	80%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	生理学Ⅱ		学年	1 年 17 期生	
担当者			期別	前期	
単位数	1 単位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	32 時間	16 回	専任・兼任	兼任	
実務経験	専門学校講師13年 臨床11年				
一般目標(GIO)					
<p>人体の機能を西洋科学的に理解し、説明することが出来る。</p> <p>教科書の以下の範囲が対象となる。</p> <p>第3章 呼吸</p> <p>第5章 栄養と代謝</p> <p>第4章 消化と吸収</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	2	授業ガイダンス	生理学を学ぶ目的を理解する
2		18	2	呼吸の概略 呼吸器	呼吸と呼吸器について理解する
3		25	2	肺機能	肺機能について理解し説明できる
4	5	9	2	換気とガス交換	換気とガス交換について化学的に理解し説明できる
5		16	2	呼吸運動	呼吸運動について理解し説明できる
6		23	2	呼吸調節	呼吸調節について理解し説明できる
7		30	2	栄養と代謝	栄養と代謝について理解し説明できる
8	6	6	2	糖質	糖質について理解し説明できる
9		13	2	脂質	脂質について理解し説明できる
10		20	2	タンパク質 ビタミン 無機質	その他の栄養素について理解し説明できる
11		27	2	消化吸収の概略	消化吸収の概略について理解し説明できる
12	7	4	2	消化管運動	消化管運動について理解し説明できる
13		11	2	消化液	消化液について理解し説明できる
14		18	2	消化液 吸収	消化液と吸収について理解し説明できる
15		25	2	肝臓 摂食の調節	肝臓と摂食の調節について理解し説明できる
16	8	29	2	期末試験答案返却・解説	期末試験の結果について自己分析できる。
評価基準			教科書		参考書
期末試験	100%	東洋療法学校協会『生理学』 (医歯薬出版株式会社)			
	%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	生理学Ⅲ		学年	1 年 17 期生	
担当者			期別	後期	
単位数	1 単位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	32 時間	16 回	専任・兼任	兼任	
実務経験					
一般目標 (GIO)					
生理学における筋・運動・感覚についてのそれぞれの機能、メカニズムについての基本的な知識の習得を目標とする					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	17	1	骨格筋の構造と、神経支配	骨格筋の構造や神経支配について理解し、説明できる
2		24	1	神経筋接合部の興奮伝達	神経筋接合部の構造や興奮の伝達について理解し、説明できる
3	10	8	1	筋の収縮の仕組み	筋の収縮の仕組みについて理解し、説明できる
4		15	1	心筋と平滑筋	心筋と平滑筋の特徴や働きや骨格筋との違いについて理解し、説明できる
5		29	1	運動の調節	運動の調節に関わることについて理解し、説明できる
6	11	5	1	脊髄反射	脊髄反射について説明できる
7		12	1	脳幹による調節	脳幹による反射に何があるか理解し、説明できる
8		19	1	大脳皮質による調節	大脳皮質により何が調節されているか、理解し、説明できる
9		26	1	錐体路系と錐体外路系	錐体路系と錐体外路系の違いやその障害で起こることについて理解し、説明できる
10	12	3	1	感覚の分類と一般的性質	感覚の分類を理解し、その性質について説明できる
11		10	1	体性感覚	体性感覚について、何があるのか理解し、その性質について説明できる
12		17	1	痛覚	痛覚のメカニズムについて理解し、分類することが出来る
13	1	7	1	痛みの抑制系	痛みの抑制系の種類の違い、そのメカニズムについて理解し、説明できる
14		14	1	味覚・嗅覚	味覚・嗅覚について、受容器から伝導路まで理解し、説明できる
15		21	1	聴覚・平衡感覚	聴覚・平衡感覚について、受容器から伝導路まで理解し説明できる
16	2	13	1	視覚	視覚について、受容器から伝導路まで理解し説明できる
評価基準			教科書		参考書
レポート	20%		医歯薬出版株式会社 生理学 公益社団法人 東洋療法学校協会編		医歯薬出版株式会社 解剖学 公益社団法人 東洋療法学校協会編
筆記試験	80%				
	%				
	%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (12:30~14:00)

科目名	生理学Ⅳ			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	後期
単位数	1 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32 時間	16 回		専任・兼任	兼任
実務経験	専門学校講師13年 臨床11年				
一般目標(GIO)					
<p>人体の機能を西洋科学的に理解し、説明することが出来る。</p> <p>教科書の以下の範囲が対象となる。</p> <p>第8章 内分泌</p> <p>第7章 排泄</p> <p>第6章 体温</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	26	1	内分泌とホルモン	内分泌とホルモンについて理解し説明できる
2	10	3	1	視床下部・下垂体ホルモン	視床下部・下垂体ホルモンについて理解し説明できる
3		10	1	甲状腺・副甲状腺ホルモン	甲状腺・副甲状腺ホルモンについて理解し説明できる
4		17	1	膵臓・副腎ホルモン	膵臓・副腎ホルモンについて理解し説明できる
5		24	1	精巣・卵巣ホルモン	精巣・卵巣ホルモンについて理解し説明できる
6		31	1	その他のホルモン まとめ	内分泌についての理解度を自己評価する
7	11	7	1	排泄の概略 腎臓の働き	排泄の概略 腎臓の働きについて理解し説明できる
8		14	1	尿生成	尿生成について理解し説明できる
9		21	1	再吸収と分泌 尿生分	再吸収と分泌と尿生分について理解し説明できる
10		28	1	腎臓による体液調節	腎臓による体液調節について理解し説明できる
11	12	5	1	畜尿と排尿	畜尿と排尿について理解し説明できる
12		12	1	体温の概略	体温の概略について理解し説明できる
13		19	1	熱産生と放熱	熱産生と放熱について理解し説明できる
14	1	9	1	発汗 体温調節	発汗と体温調節について理解し説明できる
15		23	1	総合演習	科目全体の理解度を自己評価し問題があれば解決する
16	2	6	1	期末試験答案返却 解説	期末試験の結果について自己分析できる。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	東洋療法学校協会『生理学』 (医歯薬出版株式会社)			
	%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	基礎解剖生理学 I		学年	1 年 17 期生	
担当者			期別	前期	
単位数	1 単位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	32時間 16回		専任・兼任	専任	
実務経験	特別支援学校附属治療院8年 専門学校附属治療院14年				
一般目標(GIO)					
<p>生理学において最も基礎的かつ重要な項目を正確に理解し、説明ができるようになる。生理学と解剖学のテキストを使用することによって理解度をより深める。この分野は今後学習する病理学、臨床医学へと繋がり、鍼灸師になるなどとなるので全員が確実に修得することを目指す。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	9	2	生理機能の特徴	生命現象・ホメオスタシスについて説明ができる。
2	4	16	2	細胞の構造と機能	細胞膜・細胞質・細胞小器官の説明ができる。
3	4	23	2	細胞の構造と機能	核・DNA・RNAの説明ができる。
4	5	7	2	物質代謝	同化と異化・解糖と内呼吸の説明ができる。
5	5	14	2	体液の組成と働き	体液の区分・イオン組成・pHの説明ができる。
6	5	21	2	体液の組成と働き	体液の浸透圧、体液量と水分の出納バランス、脱水・浮腫について説明できる。
7	5	28	2	物質移動	拡散・浸透・能動輸送・サイトーシス・濾過について説明できる。
8	6	4	2	血液の組成と働き	赤血球・白血球について説明できる。
9	6	11	2	血液の組成と働き	血小板・血漿について説明できる。
10	6	18	2	止血	血小板血栓(一次止血)について説明できる。
11	6	25	2	止血	血液凝固(二次止血)について説明できる。
12	7	2	2	線維素溶解	線維素溶解と凝固阻止物質について説明できる。
13	7	9	2	血液型	ABO式血液型について説明できる。
14	7	23	2	血液型	ABO式血液型とRh式血液型について説明できる。
15	7	30	2	心臓血管系	大循環(体循環)と小循環(肺循環)について説明できる。
16	8	27	2	前期復習	前期で学習した全範囲の内容についてのランダムな問題を解説できる。
評価基準			教科書		参考書
定期試験(筆記試験)のみ			生理学 第3版 (東洋療法学校協会編)		

科目名	基礎解剖生理学Ⅱ			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	後期
単位数	1 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間 16回			専任・兼任	専任
実務経験	特別支援学校附属治療院8年 専門学校附属治療院14年				
一般目標(GIO)					
循環器系と頭蓋骨の基礎的な項目を確実に理解し、説明できるようなる。生理学と解剖学のテキストを並行して使 学習することによって理解度を深める。この分野は今後学習する病理学、臨床医学の基礎となる所なので繰り返し 学習し、より良い鍼灸師になるための資質を身に付ける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	19	2	心臓の構造と働き	大循環・小循環・動脈・静脈について説明できる。
2	9	30	2	心臓の構造と働き	心臓の構造について説明できる。
3	10	7	2	心臓の構造と働き	心筋の特性・刺激伝導系・心機能の調節について説 明できる。
4	10	21	2	心臓の構造と働き	心機能の調節・心電図・心臓の神経支配について説 明できる。
5	10	28	2	血液循環	血管の構造と働き・弾性血管・抵抗血管・交換血管・ 容量血管について説明できる。
6	11	11	2	血液循環	脈拍・毛細血管・静脈・血管の神経支配・血圧につい て説明できる。
7	11	18	2	循環調節	調節の仕組み・循環中枢について説明できる。
8	12	2	2	循環調節	循環の反射性調節・高位中枢からの影響・特殊な部 位の循環について説明できる。
9	12	9	2	リンパ系	リンパ系の機能・リンパの生成と組成・リンパ管とリン パの輸送について説明できる。
10	12	16	2	頭蓋骨の成り立ち	脳頭蓋について図で示し、解説できる。
11	12	23	2	頭蓋骨の成り立ち	顔面頭蓋について図で示し、解説できる。
12	1	8	2	脳頭蓋をつくる骨	前頭骨・頭頂骨・後頭骨・側頭骨について図で示し、 解説できる。
13	1	16	2	脳頭蓋をつくる骨	蝶形骨・篩骨について図で示し、解説できる。
14	1	20	2	顔面頭蓋をつくる骨	鼻骨・涙骨・頬骨、上顎骨、口蓋骨・下鼻甲介・鋤骨 について図で示し、解説できる。
15	1	27	2	頭部の関節・顎関節	下顎骨・舌骨及び、関節の構造について説明でき る。
16	2	10	2	総復習	ランダムに質問し、討議しながら応用能力を身に付け る。
評価基準			教科書		参考書
定期試験(筆記試験)のみ			生理学(第3版 東洋療法学校協会編) 解剖学(第2版 東洋療法学校協会編)		

科目名	医療概論			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	前期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・16回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務6年 専門学校附属治療院2年				
一般目標(GIO)					
医療従事者となるために、西洋・東洋の医学の歴史や現状を知り、これからの医療に対する問題や倫理を学ぶ。 医療人としての倫理の基礎を作ることを目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11		医療概論	病、医療とは何かについて考える
2		18		医療倫理	医療人としての倫理について考え、理解する
3		25		現代医学の課題	近代医学の方法、課題について考える
4	5	9		現代医学の課題	東洋医学と西洋医学の違いを考える
5		16		現代の医療制度	医療について学び、医療経済の問題を考える
6		23		現代の医療制度	医療保険、公的医療、介護サービスについて理解する
7		30		西洋の医学と医療の歴史	古代～中世の時代背景から医学を学ぶ
8	6	6		西洋の医学と医療の歴史	ルネサンス～17世紀の時代背景から医学を学ぶ
9		13		西洋の医学と医療の歴史	18世紀～19世紀の時代背景から医学を学ぶ
10		20		東洋の医学と医療の歴史	古代インドの医学を学ぶ
11		27		東洋の医学と医療の歴史	中国の医学を学ぶ
12	7	4		日本の医学と医療の歴史	古代以前の時代背景から医学について学ぶ
13		11		日本の医学と医療の歴史	古代～中世の時代背景から医学を学ぶ
14		18		日本の医学と医療の歴史	近代の医学について学ぶ
15		25		復習	
16	8	29		テスト返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	医療概論(東洋療法学校協会)		医学の歴史(梶田昭著) まんが 医学の歴史(医学書院)	

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(12:30～14:00)

科目名	はりきゅう理論 I			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	後期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・16回			専任・兼任	専任
実務経験	17年(鍼灸整骨院 4年、付属鍼灸院 13年)				
一般目標(GIO)					
はり・きゅうの歴史から、基本的な知識を修得させ、鍼灸施術を行う上で危険を認識できるようにする能力を身につけ					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	19	1	概論	鍼灸施術の意義についての説明ができる。
2	9	30	1	鍼の基礎知識(用具・古代九鍼)	毫鍼の名称、材質と特徴、鍼管の材質や特徴の説明ができる。
3	10	7	1	鍼の基礎知識(用具・古代九鍼)	古代九鍼の種類・使用の説明ができる。
4	10	21	1	刺鍼の方式と術式	管鍼法・打鍼法・撚鍼法の創案者と説明ができる。
5	10	28	1	刺鍼の方式と術式	揉撚法・押手・切皮・刺鍼の角度(斜刺・横刺)の説明ができる。
6	11	11	1	刺鍼の方式と術式	刺鍼中の手技(杉山流十七手技)の説明ができる。
7	11	18	1	特殊鍼法	小児鍼・円皮鍼・皮内鍼の説明ができる。
8	12	2	1	特殊鍼法	灸頭鍼・低周波鍼通電の説明ができる。
9	12	9	1	灸の基礎知識	ヨモギ・モグサの品質(良質艾・粗悪艾)の説明ができる。
10	12	16	1	灸の基礎知識	モグサの製法・線香の品質の説明ができる。
11	12	23	1	灸術の種類(有痕灸・無痕灸)	有痕灸(透熱灸・打膿灸・焦灼灸)の説明ができる。
12	1	8	1	灸術の種類(有痕灸・無痕灸)	無痕灸(知熱灸・隔物灸・温灸・薬物灸)の説明ができる。
13	1	16	1	鍼灸の臨床応用	鍼灸刺激の刺激量や感受性、鍼灸の適応症・禁忌を説明できる。
14	1	20	1	リスク管理	鍼灸療法の過誤と副作用(気胸・折鍼・渋鍼・熱傷・灸あたり)の説明ができる。
15	1	27	1	リスク管理	感染症(エイズ・肝炎)の危険性の説明ができる。
16	2	10	1	後期試験返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	はりきゅう理論 東洋療法学校協会		はりきゅう実技〈基礎編〉 東洋療法学校協会	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	経絡経穴概論 I			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	通年
単位数	3 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	48 時間	24 回		専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務5年、専門学校附属治療院16年				
一般目標 (GIO)					
鍼灸師として必須の経絡経穴の知識を修得する。 ・正経十二経および督脈、任脈の十四経の経穴名、取穴部位を身につける。 ・十四経脈の五腧穴・五行穴・五要穴を身につける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	6	17	3	経絡・経穴の基礎	正経十二経脈の走行が説明できる
2		24	3	経絡・経穴の基礎	骨度法が説明できる
3	7	1	3	十四経脈とその経穴	督脈の経穴名と部位が説明できる
4		8	3	十四経脈とその経穴	任脈の経穴名と部位が説明できる
5		16	3	十四経脈とその経穴	手の太陰肺経の経穴名と部位が説明できる
6		22	3	十四経脈とその経穴	手の陽明大腸経の経穴名と部位が説明できる
7		29	3	十四経脈とその経穴	足の陽明胃経の経穴名と部位が説明できる
8	8	30	3	テストの返却と解説	
9	9	20	1	十四経脈とその経穴	足の陽明胃経の経穴名と部位が説明できる
10		27	1	十四経脈とその経穴	足の太陰脾経の経穴名と部位が説明できる
11	10	4	1	十四経脈とその経穴	手の少陰心経の経穴名と部位が説明できる
12		11	1	十四経脈とその経穴	手の太陽小腸経の経穴名と部位が説明できる
13		18	1	十四経脈とその経穴	足の太陽膀胱経の経穴名と部位が説明できる
14		25	1	十四経脈とその経穴	足の太陽膀胱経の経穴名と部位が説明できる
15	11	1	1	十四経脈とその経穴	足の少陰腎経の経穴名と部位が説明できる
16		8	1	十四経脈とその経穴	手の厥陰心包経の経穴名と部位が説明できる
17		15	1	中間テスト	脾・心・小腸・膀胱の経穴名と部位が説明できる
18		29	1	テストの返却と解説	
19	12	6	1	十四経脈とその経穴	手の少陽三焦経の経穴名と部位が説明できる
20		13	1	十四経脈とその経穴	足の少陽胆経の経穴名と部位が説明できる
21		20	1	十四経脈とその経穴	足の少陽胆経の経穴名と部位が説明できる
22	1	10	1	十四経脈とその経穴	足の厥陰肝経の経穴名と部位が説明できる
23		17	1	まとめ	十四経脈の経穴名と部位が説明できる
24	2	7	1	テストの返却と解説	
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
評価基準			教科書		参考書
定期試験(前期・中間・後期)	100%	新版 経絡経穴概論(医道の日本社)		針灸経穴辞典(東洋学術出版社)	
	%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	東洋医学概論 I			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	前期
単位数	4			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務6年 専門学校附属治療院2年				
一般目標(GIO)					
東洋医学の特徴、歴史について学び、精・気・血・津液がどのように作用し、どのようにして成り立っているのかを学ぶ 人体に当てはめ、具体的にどのような現象・症状として現れるのかを理解し、説明できるようになることを目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	1	東洋医学の沿革	東洋医学の起源、成立と発展について理解する
2		12	2	東洋医学の沿革	日本における東洋医学の歴史を学ぶ
3		17	1	人体の見方	人と自然の統一性について理解する
4		19	2	東洋医学的治療・治療法	医療人の心得、治療法について理解する
5		24	1	日本の東洋医学の現状	現在に至るまでの歴史を学ぶ
6		26	2	陰陽学説の基本	陰陽学説を理解する
7	5	8	1	人体における陰陽	人体における陰陽を理解する
8		10	2	人体における陰陽	人体における全てを陰陽に分けることができる
9		15	1	五行学説の基本内容	五行の分類、関係を覚える
10		17	2	五行の生理と病理	人体における五行の生理と病理を理解する
11		22	1	診察における五行の応用	人体における五行の生理と病理を理解する
12		24	2	五行学説の運用	自然界の五行を理解し覚える
13		29	1	五行学説の運用	人体の五行を理解し覚える
14		31	2	生理事物質(精・気・血・津液)	精・気の生理、病理を理解する
15	6	5	1	生理事物質(精・気・血・津液)	血・津液の生理、病理を理解する
16		7	2	生理事物質(精・気・血・津液)	全ての生理事物質の生理を説明できる
17		12	1	復習	
18		14	2	小テスト	
19		19	1	蔵象学説	五臓六腑、奇恒の腑を理解する
20		21	2	肝系統	肝胆の生理と病理を理解する
21		26	1	心系統	心小腸の生理と病理を理解する
22		28	2	脾系統	脾胃の生理と病理を理解する
23	7	3	1	肺系統	肺大腸の生理と病理を理解する
24		5	2	腎系統	腎膀胱の生理と病理を理解する
25		10	1	五臓の相互関係	各臓腑の相互関係を理解する
26		12	2	五臓の相互関係	各臓腑の相互関係を理解する
27		17	1	六腑の協調関係	各臓腑の相互関係を理解する
28		19	2	六腑の協調関係	各臓腑の相互関係を理解する
29		24	1	病因病機	病因を理解する
30		26	2	病因病機	病機を理解する
31	8	28	1	テスト返却・解説	
32		30	2	まとめ	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	新版 東洋医学概論(東洋療法学校協会) 東洋医学概論(東洋療法学校協会)		基本としくみがよくわかる 東洋医学の教科書(ナツメ社) カラー図解 東洋医学 基本としくみ(西東社) 中医学の仕組みがわかる基礎講義(医道の日本社)	

科目名	東洋医学概論Ⅱ			学年	1 年 17 期生
担当者				期別	後期
単位数	4			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務6年 専門学校附属治療院2年				
一般目標(GIO)					
陰陽五行を理解し、具体的に身体にどのような現象・症状として現れるのかを理解する。 具体的な症状に対して弁証論治をできるようにすることを目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	20	3	望診	神、色、形、態を理解し覚える
2		26	3	望診	神、色、形、態を理解し覚える
3		27	3	望診	舌診を理解し覚える
4	10	3	3	望診	舌診を理解し覚える
5		4	3	聞診	声診を理解し覚える
6		10	3	問診	主訴、基本的問診事項を理解し覚える
7		11	3	問診	主訴、基本的問診事項を理解し覚える
8		17	3	問診	その他の問診事項を理解し覚える
9		18	3	問診	その他の問診事項を理解し覚える
10		24	3	切診	反応、腹診を理解し覚える
11		25	3	切診	経穴診、脈診を理解し覚える
12		31	3	復習	
13	11	1	3	小テスト	
14		7	3	弁証	八綱弁証を理解し覚える
15		8	3	弁証	八綱弁証を活用できる
16		14	3	弁証	気血津液弁証を理解する
17		15	3	弁証	気血津液弁証を活用できる
18		21	3	弁証	臟腑弁証を理解する
19		28	3	弁証	臟腑弁証を活用する
20		29	3	弁証	経絡、六淫、六経弁証を理解する
21	12	5	3	弁証	衛気営血弁証、三焦弁証を理解する
22		6	3	小テスト	
23		12	3	論治	扶正去邪、陰陽の調整を理解する
24		13	3	論治	正治、反治を理解する
25		19	3	論治	治法八法、それぞれの治法を理解する
26		20	3	論治	その他の治法を理解する
27	1	9	3	論治	論治の復習を行い確実に修得する
28		10	3	治療法の概要	鍼灸治療の概要を理解する
29		17	3	弁証の進め方	弁証の手順を確認する
30		23	3	復習	
31	2	6	3	テスト返却・解説	
32		7	3	まとめ	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	新版 東洋医学概論(東洋療法学校協会) 東洋医学概論(東洋療法学校協会)		基本としくみがよくわかる 東洋医学の教科書(ナツメ社) カラー図解 東洋医学 基本としくみ(西東社) 中医学の仕組みがわかる基礎講義(医道の日本社)	

科目名	はりきゅう実技基礎			学年	1 年 17 期生
担当者				期 別	前期
単位数	2			講義・実習	実習
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務6年 専門学校附属治療院2年				
一般目標(GIO)					
はり師、きゅう師になるための基礎である、片手挿管や艾炷の作り方を反復して練習していく。 自分の身体に鍼や灸を行いながら、消毒についても学習する。 何度も反復して練習を行い、より良い鍼灸師の手を作ることを目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	9	3	オリエンテーション	実技室の使い方やルールを覚る 手洗い・手指消毒について学習する
2		12	3	鍼・もぐさの説明	手指消毒・両手挿管を行いながら鍼に触れる 様々な種類のもぐさに触れ、用途について学習する
3		16	3	鍼・灸の基本実技	片手挿管を行い、練習台に鍼を打つまでの一連の流れを学習する 艾炷を作る手の動きを実践する
4		19	3	片手挿管・艾炷の作り方	片手挿管を行い練習台に鍼を打つ練習を行う 米粒大の艾炷を作る
5		23	3	片手挿管・艾炷の作り方	片手挿管を行い練習台に鍼を打つ練習を行う 半米粒大の艾炷を作る
6		26	3	刺鍼・艾炷へ点火	片手挿管を行い、練習台に鍼を打つ(直刺1cm) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける動作を確認する
7	5	7	3	刺鍼・艾炷へ点火	片手挿管から刺鍼までの流れをスムーズに行う 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
8		10	3	刺鍼・艾炷へ点火	片手挿管から刺鍼までの流れをスムーズに行う 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
9		14	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で1cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
10		17	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で1cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
11		21	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で1cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
12		24	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で1cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
13		28	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で3cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
14		31	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で3cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
15	6	4	3	刺入・艾炷へ点火	刺鍼練習台に直刺で3cm刺す(旋捻術・送り込み法) 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
16		7	3	斜刺、水平刺・艾炷へ点火	刺鍼練習台に斜刺、水平刺の練習を行う 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
17		11	3	斜刺、水平刺・艾炷へ点火	刺鍼練習台に斜刺、水平刺の練習を行う 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
18		14	3	下腿へ刺鍼・艾炷へ点火	消毒動作を確認し、各自下腿に刺鍼する 半米粒大の艾炷を作り、火をつける練習を行う
19		18	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿へ刺鍼する 艾炷の火を8分で消す練習を行う(透熱灸10分50秒)
20		21	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分55秒)
21		25	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分60秒)
22		28	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分65秒)
23	7	2	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分70秒)
24		5	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分75秒)
25		9	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分80秒)
26		12	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分85秒)
27		19	3	下腿へ刺鍼・知熱灸	各自下腿に刺鍼する 各自下腿に知熱灸の練習を行う(透熱灸10分90秒)
28		23	3	試験の準備	
29		26	3	試験	
30		30	3	試験	
31	8	26	3	まとめ	
32		26	3	まとめ	
評価基準		教科書			参考書
実技試験	80%	はりきゅう実技<基礎編>(東洋療法学校協会)			
出席状況	20%				

科目名	はりきゅう実技応用 I		学年	1 年 17 期生	
担当者			期別	後期	
単位数	2 単位		講義・実習	実習	
時間数・授業回数	64 時間	32 回	専任・兼任	専任	
実務経験	病院勤務5年、専門学校附属治療院16年				
一般目標 (GIO)					
各経絡の経穴部位を正しく取穴する技術を身につける。 臨床上使用頻度の高い経穴部位への施術を行い、身体部位により異なる刺激方法(刺入角度や刺入深度の違い、部位による感受性の違いなど)を修得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	18	2	技術確認	片手押指、旋捻刺法、送り込み法、透熱・知熱灸が実施できる
2		25	2	任脈	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
3		26	2	任脈	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
4	10	2	2	督脈	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
5		3	2	督脈	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
6		9	2	手の太陰肺経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
7		10	2	手の太陰肺経 / 手の陽明大腸経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
8		16	2	手の陽明大腸経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
9		17	2	足の陽明胃経1	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
10		23	2	足の陽明胃経1	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
11		24	2	足の陽明胃経2	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
12		30	2	足の陽明胃経2	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
13		31	2	足の太陰脾経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
14	11	6	2	足の太陰脾経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
15		7	2	手の少陰心経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
16		13	2	手の少陰心経 / 手の太陽小腸経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
17		14	2	手の太陽小腸経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
18		20	2	足の太陽膀胱経1	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
19		21	2	足の太陽膀胱経1	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
20		27	2	足の太陽膀胱経2	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
21		28	2	足の太陽膀胱経2	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
22	12	4	2	足の少陰腎経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
23		5	2	足の少陰腎経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
24		11	2	手の厥陰心包経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
25		12	2	手の厥陰心包経 / 手の少陽三焦経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
26		18	2	手の少陽三焦経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
27		19	2	足の少陽胆経1	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
28	1	9	2	足の少陽胆経1	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
29		15	2	足の少陽胆経2	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
30		23	2	足の少陽胆経2	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
31	2	6	2	足の厥陰肝経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
32		12	2	足の厥陰肝経	経穴部に正しく取穴し、指定した経穴に施術が実施できる
評価基準			教科書		参考書
鍼試験	60%	新版 経絡経穴概論(医道の日本社)			
灸試験	30%				
平常点	10%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)